

## ご挨拶

皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

当財団は、皆さまのお蔭をもちまして2023年度の事業活動を無事に終了いたしましたので、「Diaレポート2023」をお届けいたします。

2023年度は新型コロナウイルスが5類に移行になり、徐々に対面コミュニケーションが復活してきたようです。ウクライナに続き中東地域で紛争が発生し、地政学的リスクがより高くなったことや、急速な円安の進行等により一部経済に影響が出る等懸念材料がある一方、日経平均株価が34年ぶりに最高値を更新し、スポーツ界では大谷翔平選手がメジャーリーグでホームラン王に輝く等明るい話題がありました。

当財団は1993年の設立以来、民間研究機関として高齢社会における健康、経済、生きがい等に関する様々な調査・研究に取り組み、結果を広く社会に発信するとともに活動成果の普及に努めてまいりました。お蔭をもちまして2023年6月18日に設立30周年を迎えました。設立30周年記念事業としてシンポジウム「認知症を正しく理解し、ストップ介護離職」を9月に開催しました。引き続き、行政・学会・産業界・民間諸団体並びに高齢者の方々との連携を強め、諸課題の解決に向けて実りある調査研究に努めてまいり所存です。本レポートは2023年度における当財団の活動実績をできるだけ分かりやすく皆さまにお知らせするものです。

皆さまにおかれましては、引き続き幅広いご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、財団の諸活動につきまして、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。



理事長 石塚 博昭